

2020年8月26日

各位

ダイダン株式会社

「ダイダンがDX銘柄2020に選定」

“人を活かす”DXで、働き方改革や新しい建築設備への取り組みが評価されました

ダイダン株式会社（本店：大阪市西区、代表取締役社長：藤澤一郎）は、経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「DX銘柄2020」に選ばれました。^(※1)

(※1)DX:Digital Transformation(デジタル・トランスフォーメーション)

デジタル技術の活用による生産性向上やビジネスモデル創出などの変革を指す

「DX銘柄2020」とは、中長期的な企業価値の向上や競争力強化に結び付く戦略的なIT活用に取り組む企業を選定する制度で、2015年度より実施されています（昨年度までは「攻めのIT経営銘柄」の名称にて実施）。今年度はグランプリ2社、DX銘柄に35社、DX注目企業21社が選定されました。



DX銘柄2020
Digital Transformation

【ダイダンの主な取り組み】

ダイダンは、建設現場におけるデジタル技術を活用した生産性向上（i-Construction）をかねてより推進して参りました。

今回、最大の資産である「人」を活かす視点で、デジタル技術を建設現場での働き方改革や、建築設備の設計・施工・研究開発に活かしていること、さらに建築設備分野での新しいビジネスモデル創出へ取り組んでいることなどを高く評価され、初めて同銘柄に選定されました。

1. 多様な働き方を実現する「現場支援リモートチーム」

各地に散在する建設現場への本社・支店からの効率的な支援のため、WEB会議システム、共通のCADシステム、クラウドサーバーなど各種のデジタルツールを駆使し、工程管理や現場相互の図面作成などを、互いに遠隔（リモート）で勤務しながらもチーム体制として

支援することで、生産性を向上させています。

本社・支店から離れた現場であっても、ベテラン技術者の豊富な経験を若年技術者の指導やスムーズな現場管理に活かすことができます。また育児などで時短勤務が必要な社員は、自宅から最寄りの現場や事務所を勤務場所とする職住近接ができることなど、多様な働き方ニーズに応じた柔軟かつ効率の良い働き方を実現しています。

2. クラウド型ビル監視制御システム「REMOVIS」

遠隔地から建物設備の稼働状況やエネルギー消費状況を監視できるクラウド型ビル監視制御システム「REMOVIS（リモビス）」を開発しました。当社が推進する超省エネルギー型の建物「ZEB（ゼロエネルギービル）」の管理にも活用しています。

クラウド上で制御・監視機能を稼働させる先進的なシステム構成であることを活かし、当社エンジニアが現地へ赴くことなく、当社の監視センターからお客様の最適な設備の運用や維持管理を支援します。サブスクリプション型サービスとして提供しており、導入費用の軽減や、より少ない人数での設備管理が可能です。高齢化・人手不足が進む建設業界において、DXを事業モデルに取り入れた課題解決への新たな取り組みです。

ダイダンはこれからも、デジタル技術の積極的な活用を継続し、お客様・社会に新しい価値を提供すると共に、建設現場に関わる方々の働き方改革の実現など、社会的課題の解決にも取り組んで参ります。

<参考URL>

経済産業省「DX 銘柄」政策ページ

https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/investment/keiei_meigara/keiei_meigara.html

経済産業省ニュースリリース

<https://www.meti.go.jp/press/2020/08/20200825001/20200825001.html>

東京証券取引所ニュースリリース

<https://www.jpx.co.jp/news/1120/20200825-01.html>

【お問合せ先】

ダイダン株式会社 経営企画室 広報・IR担当 伊藤修一

〒102-8175 東京都千代田区富士見2-15-10

Tel.: 03-5276-4568 携帯: 090-4600-1404

E-mail: itoshuichi@daidan.co.jp